

区の目標

「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」の実現

5つの経営課題

1. 自助・共助を担う地域力と、 にぎわいのある元気なまち

- (1) 自助・共助を担う地域力のあるまち…2p
- (2) にぎわいのある元気なまち…3p

2. こども・青少年の健全育成に地域 が一体となって取り組んでいるまち

- (1) こどもとおとながお互いに元気になれるまち…4p
- (2) すべてのこどもが「生きる力」を身につける「子育て」、
「共育」のまち…5p

3. 福祉と健康にみんなで取り組むまち

- (1) 共に支え合い共に生きるまち…6p
- (2) いきいきと暮らす健康づくりに取り組むまち…7p

4. 安全・安心のまち

- (1) 防災意識が高いまち…8p
- (2) 防犯意識が高いまち…9p
- (3) 交通安全への意識が高いまち…10p

5. 区民の役に立つ区役所があるまち

- (1) 区民ニーズを的確に把握し反映する住民参画型の区政運営…11p
- (2) 伝えて、行動につなげる情報発信力の強化…12p
- (3) 快適・迅速・確実な窓口サービス …13p
- (4) 区民の役に立つ区役所を担う職員づくり…14p

経営課題1-1

自助・共助を担う地域力のあるまち

複数年度目標

アウトカム
(中長期的指標)

●地活協の議決事項・事業計画・予算・決算書が広報紙・web媒体により広く公開されている地域：**平成31年度末までに17/17地域**

5/17地域

●新たな参加者、担い手が増えたと感じられる地域：**平成31年度までに17/17地域**

未測定

●地域版保健福祉計画策定に向けて議論している地域：**2020年度末までに17/17地域**

3/17地域

順調

検討項目

地域活動協議会を中心とした
地域活動への支援

地域担当制による
協働のまちづくり

区地域保健福祉計画
に基づく地域の
取り組みへの支援

具体的取組

地域別保健福祉計画の説明などの際、統計データの分析を行い、各地域活動協議会に分析結果を伝える

実施

地域活動協議会の機能や役割(総意形成機能等)の周知・普及

実施

地域づくりアドバイザーによる支援を地域活動協議会の自立運営に向けた支援へ転換

実施

各種媒体による地域活動協議会の活動への参加について広報

実施

地域防災力向上にむけた支援
平常時から知識の習得と地域との連携・協働

実施

地域担当職員防災研修

実施

担当地域の防災の取り組み状況を把握

実施

職員のeラーニング受講
地域担当連絡会議で説明

実施

避難所開設訓練等に参画
避難所運営を支援

実施

地域別の統計データの分析支援

実施

意見交換会等の実施

7回実施

区社会福祉協議会との連携

実施

プロセス(過程)指標

単年度目標

地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合：72%以上

プラン2.0

地域活動協議会を知っている区民の割合：35%以上

プラン2.0

地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に求められている総意形成機能を認識している割合：68%以上

プラン2.0

地域づくりアドバイザーによる支援を受けた団体が、支援に満足している割合：65%以上

プラン2.0

区が関与したCB/SB起業件数及び、社会的ビジネス化事業創出件数：2件以上

プラン2.0

地域担当職員における支援が役立っていると感じる地域活動協議会の割合：86%以上

地域を担当する職員のeラーニング受験率及び理解度：受験率100% かつ 理解度全員95点以上

プラン2.0

地域別計画策定に向けた地域での意見交換等を新たに3地域以上で実施

振り返り結果

62.8%(274団体のうち)

未達成

本市の支援内容を発信

未測定

達成

74.6%(283団体のうち)

51.7%(259団体のうち)

未達成

積極的に地活協の取組に出向き
地域実情に即した支援

1件(豊里南地活協)

未達成

地域に取組事例等を情報提供し
活動を支援

未測定

受験率：100%(66/66名)
95点以上：63.6%(42/66名)

未達成

地域担当連絡会議等を活用し
知識向上に努める

1地域

未達成

地域担当連絡会議等で新地域募集、
先行取組や魅力を周知する

振り返り結果

プロセス(過程)指標

具体的取組

検討
項目

経営課題1-2

にぎわいのある
元気なまち

複数年度目標

アウトカム
(中長期的指標)東淀川区は様々な魅力を活かし、
多様な主体が連携したまちだと
感じる区民の割合：**平成31年度
末までに70%以上**

29.5%

(区民アンケート363名のうち)

見直し

- 魅力発見プロジェクト等による地域の魅力と人材発掘
- 地域コミュニティの強化と効果的な情報発信
- 区役所庁舎内を活用し効果的な発信

新たな担い手の発掘支援と
地域・企業・教育機関・行政
の連携による
魅力あるまちづくり

まちの魅力発信

区民による
西部地域まちづくり東淀川区魅力発見
プロジェクト

実施

(会議11回・イベント3回)

BCP学びの場

2回開催

東淀川みらいEXPO

2回開催

OSAKA5GO!WALK
(大阪経済大学と共催)

1回開催

「地域のまちづくりに関する活動
が、地域・企業・教育機関・行政
等様々な活動主体の連携によって
進められている」と答えた区民の
割合：75%以上

82.6%

(各事業の参加者アンケート184名のうち)

達成

新たに地域活動協議会とNPO・企業
等とが連携した取り組み：5件
以上

プラン2.0

6件

(留学生との交流・「朝ごはんやさん」企業寄付・モニター体験 他)

達成

東淀川区の魅力あるスポット等について
のチラシ・地図等を転入者パックに
同封し情報発信

実施

大学等と連携し区内のスポットを巡る
などの体験型の手法で周知
・OSAKA5GO!WALK開催

1回実施

東淀川区の歴史やスポットについて
知っている区民の割合：
60%以上

32.1%

(区民アンケート383名のうち)

未達成

- 転入者パックのチラシ内容の精査
- 区役所内に魅力あるスポット紹介コーナーなどの設置

協議会(部会)を開催

8回実施

西部地域のまちづくりに参加した
区民が「当該まちづくりが有効である」、
または、「必要である」と考える割合：
60%以上

70.0%

(委員15名へのアンケート:10名回答)

達成

経営課題2-1

こどもとおとなが
お互いに元気に
なれるまち

複数年度目標

アウトカム
(中長期的指標)

●子育てが長期的な視点でとられ、地域の多様な団体と行政により様々な施策が実施され、子育て環境が整備されていると感じる区民の割合：**平成30年度までに60%**

達成

64.5%
(区民アンケートの
子育て世代70名のうち)

●区内の各地域に「こどもの居場所」がつけられ、地域においてこどもとおとなの交流が進み、生活習慣や学習習慣を身につけ、こどもが元気になったと感じる区民の割合：**2020年度までに60%**

順調

44.3%
(区民アンケートの
子育て世代70名のうち)

検討
項目

あらゆる世代が子育てに
関わっていくための
切れ目のない施策の推進

地域の誰もが自由に集まれる
「居場所」づくり支援

具体的取組

①-1 登校・登園が出来ていない子どもへの長期的な寄添型支援

実施

①-2 区内在住の乳児（満1歳未満）を養育している家庭のうち、希望する家庭へ地域訪問員（こんにちは赤ちゃん訪問員など）を派遣

193件実施

②-1 専門的家庭訪問支援事業
1歳まで延長

150件訪問(12月時点)

②-2 3か月健診時に授乳等の相談支援

月2回実施

③ 4・5歳児就学前子育て支援事業
安否確認・子育て支援講座

実施

④ 子育て情報マップ
子育て情報みのりちゃん
子育て出前講座
子育て相談

1回発行

6回実施

14回実施

196回実施

⑤-1 2時間単位の短時間一時預かり
保育事業

実施

⑤-2 保育所
小規模保育所

2か所整備

1か所整備

居場所設置・運営に関する助言などの支援

実施

・アドバイザー事業者を通じて、居場所運営団体に対し、居場所運営のノウハウに係る助言を行う
・学習支援活動を行う居場所運営団体に対して開設に係る備品購入等を補助

実施

プロセス(過程)指標

単年度
目標

①-1 登校・登園サポート：10件以上、
送迎ボランティア登録数：16名以上

①-2 乳児家庭への訪問員からの情報
提供により子育てサロン等関係施設
を利用したと答えた0歳児保護者の
割合：50%以上

②-1 助産師に相談した方へのアン
ケートを実施し育児に自信が持てるよ
うになったと答えた割合：60%以上

②-2 助産師相談利用者満足度：90%
以上

③すべての4・5歳児の安否確認

④子育てサロンのアンケートで出前
講座や情報紙が子育てに役立ってい
ると感じる割合：60%以上

⑤一時預かり保育事業利用者の1か
所あたりの年間延べ人数：昨年度比
5%増加

振り返り結果

7件実施、3名登録

未達成見込

事業を見直し
「こんにちは赤ちゃん訪問」直営化

未測定

66.7% (23名のうち)

達成

99.1% (117名のうち)

達成

確認済(2,416名)

達成

82% (281名のうち)

達成

昨年度と同数見込(547人)

未達成見込

広報紙、SNS等を活用し、より広範
囲への周知を図る

居場所の新規開設：
6地域

4地域(H30.12末時点)

達成見込

振り返り結果

いのちと性:**94.5%**(1,998名のうち)
情報モラル:**87.5%**(734名のうち)

達成見込

91%(1,989名のうち)

達成

92%(6,316名のうち)
(H30.12末時点)

達成見込

未測定

3回実施

達成

未測定

84%(111名のうち)

達成

88.9%(63名のうち)

達成

未測定

未測定

集計中

93%(14名のうち)

達成

プロセス(過程)指標

単年度
目標

①ゲストティーチャー授業受講後内容を理解したと答えた児童生徒の割合:75%以上

①自分の大切さとともに他の人の大切さを考えることができたと回答した受講者の割合:75%以上

②「家庭で読み聞かせをしている」又は「家庭で読み聞かせをしようと思う」と回答した事業参加者:60%以上

③中学生勉強会に継続参加した生徒の全日制高校進学率:90%以上

④地域で実施する体験型調理実習:3回以上

①子ども・青少年の健全育成に関する取組に参加したいと思ったと回答する人の割合:30%以上

②「地域のコミュニケーションが活性化されていると感じる」と回答する地域住民の割合:50%以上

③地域連携事業の利用者アンケートで「学校を活用した地域連携」が出来ていると感じる人の割合:80%以上

①-1 学校・地域の実情に応じた教育が行われたと感じる「保護者・区民等の参画のための会議」の委員の割合:30%以上

①-2 学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる小・中学校長の割合:30%以上

①-3 委員を務める学校において、学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる小・中学校の学校協議会委員の割合:30%以上

②区職員からの学校協議会施策に関する説明・情報提供は、学校協議会について理解を深めるのに役立ったと感じる学校協議会委員研修会に参加する委員の割合:70%以上

具体的取組

①・ゲストティーチャー派遣事業
101回実施予定・鑑賞教育事業
9回実施②絵本の読み聞かせ事業
実施③東淀川区中学生勉強会事業
94回実施予定④体験型食育推進事業
・体験型調理実習
5回実施予定・食育パートナー養成講座
実施
・食育講演会(小学生向け)
2回実施①青少年育成推進事業
・区民大会開催
実施見込②校庭等の芝生化事業
・維持管理の技術指導
2校実施③学校を活用した地域連携事業
・はぐくみネット事業
16校実施・生涯学習ルーム事業
16校実施・学校体育施設開放事業
23校実施①区教育会議
区教育行政連絡会
2回実施
3回実施②学校協議会への補佐
・委員への研修
2回実施

検討項目

「生きる力」を身に付けるのに重要な
自尊感情の向上子育て世帯を含む
地域住民の交流促進

分権型教育の推進

経営課題2-2

すべての子どもが「生きる力」を身につける
「子育て」「共育」のまち

複数年度目標

アウトカム
(中長期的指標)すべての子どもが「生きる力」を主体的に身に付けられる子育て・教育環境が地域において整っていると感じる区民の割合:**2020年度までに50%**

順調

28.6%
(区民アンケートの子育て世代70名のうち)

プロセス(過程)指標

具体的取組

検討
項目

振り返り結果

経営課題3-1

共に支え合い
共に生きるまち

複数年度目標

アウトカム
(中長期的指標)身近な地域の中で、
「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、
「支え合い」を実感している区民の割合：

2020年度末までに70%

プラン2.0

未測定

複合課題世帯への
支援生活困窮者の
自立支援見守りへの支援
要援護者の

- ・支援に繋がらなかった（支援機関がなかった）制度のはざまの課題を集約
- ・課題ごとの解決方法を検討
- ・事態の深刻度を鑑みて世帯単位で支援する体制の強化、充実
- ・総合的な支援調整の場(つながる場)の開催

36回実施

相談窓口周知の資料(リーフレット)作成
実施予定要援護者支援に係る弁護士相談事業
(弁護士派遣)

7回実施

東淀川区生活困窮者サポートネット連絡
会(困サポ)

3回開催予定

困サポを活かし、関係部署と連携して、
地域で孤立した生活困窮者の早期把握と
自立のための取組み推進

実施

- 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業
- ・見守り相談室で実施している個人情報提供に係る同意確認、要援護者への訪問支援
- ・行方不明者情報のメール配信などの取り組み支援(実施事業者との調整会議など)

実施

- ・見守りキーホルダー等の見守り活動の広報周知、関係機関との連携等
- ・事業効果の分析(区民アンケート等活用)

実施

つながる場を有効と感じる方の
割合：90%以上86%
(つながる場参加者アンケート
278名のうち)

未達成

- ・具体的な支援段階で本人の支援拒否があるなど解決の困難さを危惧する意見あり
- ・区と関係機関が協力し粘り強く支援を継続していく重要性を繰り返し関係機関に訴える
- ・必要に応じて同一案件についてつながる場を継続的に開催

他部署からの連携による相談者の
割合：40%以上

41.3%(H30.12時点)

達成

見守り活動により、地域で安心して暮らせるようになったと感じる割合：85%以上(利用者アンケート)

85.2%
(H29.10～H30.8の見守りキーホルダー契約者106名へのアンケート:61名回答)

達成

H30年度内振り返り

プロセス(過程)指標

単年度
目標

振り返り結果

達成

44会場

いきいき百歳体操サ
ポーターの育成・交
流：44会場

達成

17地域

地域で実施される様々
な機会を利用して在宅
医療等について啓発を
実施：17地域

具体的取組

検討 項目

健康寿命延伸への取り組み
いつまでもいきいきと
自分らしく過ごすための

在宅医療・介護連携の推進
高齢者等の

受動喫煙：妊婦や乳幼児を持つ養育者へ啓発活動
実施

禁煙指導：大学等と連携した啓発活動
実施

検診受診勧奨：乳幼児健診の受診対象者の保護者
に対し、検診受診啓発
実施

検診受診機会の拡大：レディースデイの設定、区
内小中学校・淡路出張所等での検診の実施、土日
の総合がん検診の実施等
実施

介護予防活動：「いきいき百歳体操」等を通じた
社会参加への支援、サポーターの育成
実施

「かみかみ百歳体操、しゃきしゃき百歳体操」に
ついてリーフレット等で情報提供
(地域の健康講座及びいきいき百歳体操会場にて)
実施

血管年齢測定を地域へ出張し実施・区役所内に常
設の健康相談窓口で実施
実施

体験型食育推進事業(2-2-1再掲)
実施

在宅医療・介護連携推進会議の実施
在宅医療・介護連携実務者会議の実施
各2回実施

在宅医療等のリーフレットの配布による啓発
実施

関係職種の研修を実施
実施

様々な機会を利用し在宅医療等について啓発
実施

経営課題3-2

いきいきと暮らす
健康づくりに
取り組むまち

複数年度目標

アウトカム (中長期的指標)

自らの健康のために、検
診の受診や生活習慣の改
善、体力づくりなどに意
識して取り組んでいる区
民の割合：H30年度末時
点で70%以上

61.3%
(区民アンケート383名の
うち)
※ 少しは意識して取り組
んでいる区民も合わせ
ると前年度から微増
(90.9%→91.1%)

見直し

区民啓発等の取り組みをこれ
まで以上に積極的に実施

経営課題4-1

防災意識が
高いまち

複数年度目標

アウトカム (中長期的指標)

自分や地域による「自助・共助」による取組が重要だと感じた区民の割合：**平成30年度末までに80%以上**

達成

95%
(地域防災訓練参加者113名のうち)

検討項目

区民の防災・減災の
意識向上

地域防災・減災力の
向上

福祉・医療分野
との連携

具体的取組

地域住民や学校の児童生徒に対する防災・減災の出前講座

46回実施予定

防災・減災に関する知識普及の学習会（ブース出展含む）の開催

6回実施

区防災マップの配布

実施

ローリングストックハンドブックの配布

実施

地域の防災訓練（避難所開設・運営訓練等）の実施支援

17回実施

・要配慮者支援に関する学習会
・上記訓練に要配慮者支援を盛り込んだ訓練の実施支援

9回実施予定

・新大阪駅周辺地区帰宅困難者対策協議会開催

3回実施予定

・災害時における新大阪駅周辺の情報伝達訓練の実施

1回実施

福祉避難所への通信機器の整備・通信訓練の実施

22施設実施

医療機関との医薬品等の備蓄に関する協定締結

実施

プロセス(過程)指標

単年度
目標

H30年度内振り返り

振り返り結果

出前講座や学習会実施後のアンケートにおいて「自宅で食品や飲料水の備蓄、家具の耐震固定といった自助の取り組みを行う、または行っている」と答えた割合：80%以上

80%
(イベント参加者・区民アンケート等885名のうち)

達成

訓練実施後のアンケートにおいて、「災害時に取るべき行動が分かった」と答えた区民の割合：80%以上

95%
(地域防災訓練参加者113名のうち)

達成

福祉避難所と災害時の情報連携を見据えた通信訓練：10施設以上

22施設実施

達成

区内医療機関への医薬品備蓄拠点の設置(1か所)

1か所実施

達成

プロセス(過程)指標

具体的取組

検討
項目

経営課題4-2

防犯意識が
高いまち

振り返り結果

達成

86.0%
(防犯講習会等参加者
100名のうち)地域住民の防犯意識が
向上していると考える
区民の割合：60%以上

実施

21か所実施

33回実施

43回実施

50回実施

地域安全防犯対策

重点犯罪の抑止

アウトカム
(中長期的指標)地域が主体と
なり、警察、
行政、企業等
が連携して犯
罪の抑止、防
犯対策に向け
た取り組みが
進められてい
ると感じる区
民の割合：
2021年度末ま
でに60%以上

順調

68.7%
(防犯講習会
等参加者
201名のうち)達成
見込36%減
47件(予想値)女性被害犯罪の3年以
内のワーストワン返上
をめざし、発生件数：
前年比10%減(67件)

区防犯カメラを設置、維持管理、継続運用

実施(7台新規設置)

自転車盗防止の啓発活動を企業と連携して実施

実施(キャンペーン2回)

より効果的な青色防犯パトロール活動
地域間相互乗り入れ

5地域実施

夜間青色防犯パトロールの実施
(業務委託)

啓発ポスター・ちらしを施設や各企業等へ設置

防犯教室・啓発活動(子どもや女性をねらった
犯罪や事案防止、防犯意識の向上)車上ねらい等の街頭における犯罪防止の
啓発活動高齢者を中心に講習会や自己防衛対策向上の啓
発活動(特殊詐欺被害防止や消費者保護)

経営課題4-3

交通安全への意識が高いまち

検討項目

具体的取組

プロセス(過程)指標

単年度目標

H30年度内振り返り

振り返り結果

自転車ルール・マナーの啓発

交通安全運動の推進

アウトカム
(中長期的指標)

地域が主体となり、警察や行政、企業等と連携して交通安全に向けた取り組みが進められていると感じる区民の割合：2021年度末までに60%以上

順調

68.7%
(防犯講習会等参加者
201名のうち)

安全教室の実施
(自転車利用のルール周知・マナー向上) 33回実施

自転車ルールの普及啓発活動
(チラシ配架・ポスター掲示) 実施

放置自転車の多い駅周辺に啓発指導員を配置
(業務委託) 実施

自転車ルール・マナーの啓発活動の実施 13回実施

自転車利用適正化を目的にした普及啓発活動(自転車マナーアップ強化月間中) 実施(キャンペーン1回)

地域住民の交通安全、自転車利用のルール周知・マナー向上が進められていると考える区民の割合：60%以上

76.0%
(安全教室参加者
75名のうち)

達成

春・秋の交通安全運動(17地域)
(地域や警察、企業等と連携) 実施

・チラシやポスターの配架等
(各交通事故防止運動期間中)
・広報啓発活動の実施
(広報紙:4回、区ホームページ・SNS:通年) 実施

地域住民の交通安全運動が推進されていると考える区民の割合：60%以上

68.7%
(防犯講習会等
参加者
201名のうち)

達成